

昭和十六年六月

國民總力運動實踐ノ概況

國民總力朝鮮聯盟

REEL No. A-0509

0003

アジア歴史資料センター

目次

一 國民總力實踐運動ノ大意

二 國民組織

三 日本精神ノ昂揚

四 内鮮一体ノ完成

五 時局ノ認識

六 思想ノ善導

七 愛國日ノ行事

八 常會ノ運営

六 經濟新体制運動

一 農山村生産報國運動

二 指導者及推進隊員ノ練成

三 婦人指導員ノ設置並ニ婦人ノ勤勞獎勵

四 貯蓄獎勵

五 空閑地ノ利用

六 文化施設

七 宣傳施設

八 結言

一、國民總力實踐運動ノ大意

大政翼贊運動ニ呼應シテ、朝鮮ニ於テハ昭和十五年十月十六日
國民總力運動ヲ展開シ、從來ノ國民精神總動員運動、農村振興
運動、其他物心兩方面ノ諸運動ヲ統合シテ、國民總力聯盟ヲ結
成シ、朝鮮總督自ラ總裁トナリ、總督政治ト表裏一体ノ關係ヲ
保ツテ、總力發揮ノ實ヲ擧グベク激烈強力ナル實踐運動ヲ開始
シテ以來、中央組織タル朝鮮聯盟ノ各機構ヲ始メ、道、府、郡
、邑、面以下ノ各聯盟及愛國班（内地ノ隣組ト全様）ノ組織ヲ
短期間ニ完了シ、各道大會ヲ始メ愛國班常會ノ陣容ヲ二ヶ月以
内ニ整備シ、更ニ實踐要綱ヲ策定シ、二千四百万ノ大衆ハ總力
總立チノ態勢ヲ以テ總進軍ヲ起シタリ

實踐要綱ハ高度國防國家体制確立ヲ目的トシテ思想ノ統一、國
民總訓練、生産力擴充ヲ三大綱トシ、更ニ三十四ノ實踐事項ニ別
チ之ヲ實踐スルコトニ依リテ戰時下ニ於ケル生活新体制ヲ整へ、官民共ニ職域奉
公、臣道實踐ニ邁進セントスルニアリ。

而シテ總力運動ハ其ノ組織ト實踐方策トガ、半島ノ現狀即チ制
治、經濟社會的特殊事情ニ適合スル如ク指導ノ要アリ、之ガ爲
總力運動趣旨ノ普及徹底、下部組織ノ整備、常會ノ運営等ハ、

中央、地方ヲ通ジテ最モ力ヲ傾倒シツツアル所ニシテ、以下實
踐運動主要事項ニ就テ其ノ概要ヲ記述セントス。

ニ國民組織

- (一) 名稱 國民總力聯盟
- (二) 綱領 國體ノ本義ニ基キ内鮮一體ノ實ヲ擧ゲ各々其ノ職域ニ於テ減私奉公ノ誠ヲ捧ゲ協心戮力以テ國防國家體制ノ完成、東亞新秩序ノ建設ニ邁進セントス

(三) 組織

1 指導組織 總督府ニ國民總力運動指導委員會ヲ置ク

2 中央組織

- (イ) 名稱 國民總力朝鮮聯盟
- (ロ) 構成員 朝鮮ニ於ケル全団体及個人ヲ以テ構成ス
- (ハ) 役員 總裁(總督ヲ推戴ス)、副總裁(政務總監ヲ推戴ス)、顧問、理事、(總督府各局長、同國民總力部長、學識經驗アル者)、參與、參事、評議員
- (ニ) 事務局 國民總力朝鮮聯盟ニ事務局ヲ置キ總務、地方、殖産、農林、貯蓄、輔導、防衛指導、文化、訓練、宣傳ノ各部ヲ設ケ事務局總長之ガ事務連絡調整ニ當ル

3 地方組織

(イ) 道、府、郡、島、邑、面ニ夫々ノ聯盟ヲ置キ機構ハ

大体中央組織ニ準ス

(ロ) 地方下部組織トシテ町、洞、里、部落聯盟ヲ置キ其

其ノ組織分子トシテ凡ソ十戸ヲ單位トセル愛國班ヲ

設ク

(四) 各種聯盟

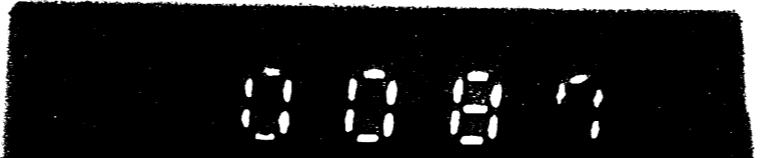
官公署、學校、會社、銀行、工場、鑛山ニ聯盟ヲ設ケ之ヲ各種

聯盟ト稱ス實踐事項ヲ具現スル爲適當ノ人員ヲ以テ愛國班ヲ設ク

(五) 聯盟結成狀況

道聯盟	一三
府、郡島聯盟	二四〇
邑、面、聯盟	二、三三六
町、洞里部落聯盟	六六、八二八
愛國班	三二九、四二六
各種聯盟	一四、〇二三
同上愛國班	五〇、二五七

以上ハ國民組織ノ大要ニシテ中央、地方ヲ通シ各行政單位ト併行シテ聯盟組織網ヲ張り其基底組織タル愛國班ハ全鮮津々浦々ニ至



ル迄整備シ二千四百萬ノ民衆ヲ網羅シ總力發揮ノ實踐運動ヲ行フ

日本精神ノ昂揚

半島ニ於テハ國體觀念ノ明徹、敬神崇祖、皇國臣民ノ信念ヲ培養シテ日本精神ヲ昂揚スルコトハ極メテ重要ニシテ精勵運動以來特ニ高調セル所ナルガ總力運動トシテ朝ノ宮城遙拜、神社參拜、正午ノ默禱、國旗掲揚、皇國臣民ノ誓詞朗誦等ノ五項目ヲ日々實踐アリテ昨今各地ニ徹底シ、敬神觀念ハ頓ニ昂揚シテ神社、神祠參拜者ヲ増シ、都鄙共ニ毎朝宮城ヲ遙拜シ、正午ノ默禱ハ室内ノ者モ街路行進中ノ者モ實

行スルニ至リ、皇國臣民ノ誓詞ハ國語ヲ解セサル者モ皆朗誦スルヲ得、此等ハ形式的訓練ト精神的教化トニ依リ日本精神ノ涵養ニ努メツツアリ尙毎月一日ノ愛國日朝ノ常會ハ全鮮各町聯盟部落聯盟毎ニ毎戶一名出席シテ所要ノ行事ヲ行ヒ心身ノ鍛鍊ト國民總訓練ニ努メツツアリ

四 内鮮一體ノ完成

内鮮一體ハ現在總督政治ノ重要ナル施政ノ一ニシテ、官民共ニ努力セル所ナルガ、抑モ内鮮一體ノ事實ハ歴史ガ證明スル所ノ兩者同根

同祖ノ關係ニ出ヅ。此ノ事實ニ還元シ、報本反始シテ之ヲ現在及將來ノ政治上ニハ勿論、教育、思想、産業其ノ他施設萬般ノ上ニ反映セシメ、以テ日韓併合ノ御聖旨ニ副ヒ奉ラントスルモノニシテ、總力運動ノ上ニ於テモ、之ヲ根本方針ノ一トシ、實踐要綱中ノ重要項目トセリ。即チ國語ノ普及、内鮮風習ノ融合、(例ヘバ儀禮ノ改善)内鮮結婚者ノ表彰、内鮮一体理念徹底ノ講習會ノ實施等皆此ノ趣旨ニ出ヅルモノナリ。

然レドモ一部國民中ニハ、内鮮一体ノ理念ニ透徹セズ誤レル内鮮一体觀ヲ有シ、内鮮人共ニ是正ヲ要スル點アルヲ以テ之ヲ善導スルハ勿論、内鮮一体ハ國體ノ本義及聲國ノ精神ニ基キ、半島同胞ヲシテ名實共ニ完全ナル皇國臣民タラシメ、一億一心臣道實踐ニ邁進セシメントスル基本理念ナルヲ以テ、朝鮮總督府ノ方針タルニ留ラズ、内外地ヲ遍シ一貫セル帝國ノ指導目標タラシムル要アリト認メラル尙内鮮一体ノ歴史的聖地タル忠清南道扶餘神宮創立セララル事トナリ、之ガ勸勞奉仕ヲ、五月ヨリ十月迄朝鮮聯盟ノ計畫ト指導ノ下ニ實施スルコトナレリ。其後各種奉仕隊ノ尊キマデ涙グマシキ美談ハ關係者ヲイタク感激セシメテイル。

五 時局ノ認識

統後國民ヲシテ國策ニ協力シテ職域奉公ヲ完カラシムルハ、時局ノ重大性ヲ正確ニ徹底セシムルニアルヲ以テ、官憲ノ施策ニ即應シテ、一般民衆ニ對スル時局認識ニ付テハ毎月一日愛國日ノ常會、毎月愛國班ノ常會其ノ他下部聯盟ノ常會ヲ通ジテ講話ノ放送、申合事項ノ實踐等ニ依リ之ガ徹底ヲ圖リツツアルガ此ノ外毎朝宮城遙拜、正午ノ默禱ハ全鮮國ナク實施セラレ、之ニ依リ時局ニ對スル意識ヲ昂揚セシメツツアルコト多大ナルモノアリ。尙印刷物ノ頒布、講演會、放送、各種記念日行事、展覽會、生徒兒童ヨリ作文募集、標語、國

民總力ノ歌ノ普及其ノ他ノ施設ニ依リ效果ヲ擧ゲツツアルガ、特に全鮮ノ言論機關ハ此ノ点ニ關シ總力ヲ擧ゲテ協調ノ態度ヲトリツツアリ。尙軍部ノ全面的支援ト相俟ツテ其ノ徹底ト昂揚トヲ期シツツアリ。特ニ支那事變滿四周年ニ當リテハ、皇軍ノ鏖然タル戰果ヲ偲ビ、國際情勢ノ大轉換ニ對處シテ大東亞共榮圈ヲ確立シ、聖業完遂ノ爲益々總力体制ノ強化ヲ圖リ、國民ノ決意ヲ固ムル目的ヲ以テ、全鮮的ニ各種ノ行事ヲ實施スル豫定ナリ。

六 思想善導

戦時下民衆ノ思想善導ハ總力運動トシテ重要視シ居ル所ニシテ、之ガ善導ハ半島人ノ皇國臣民鍊成上緊要事ナリ。本件ニ就テハ輔導部及防衛指導部其ノ中心トナリ、憲法精神ノ普及、反戦又ハ反國家思想ノ撃滅、聖戰完遂ノ爲防共、防諜ノ徹底、經濟統制違反ノ排除、思想的保護事業ノ徹底等ニ依リ、思想報國運動^ハ全面的協力ヲナシ、各種講演會、展覽會、宣傳、刊行物等ニ依リ善導ニ努メツツアル。半島内民衆ノ思想ハ、支那事變發生以來遂年向上面目ヲ一新シタリト雖、事變ノ長期ニ亘ルニ從ヒ一部青年層ノ思想動向ニ留意スルヲ要スルモノアリ。此等ニ就テハ關係當局ト連絡シテ戒心シアルモ、東亞聯盟運動ノ如キ、青年學徒ニ及ボス影響アルヲ以テ充分取締ノ要アリ。

尙思想轉向者ノ保護事業ハ顯著ナル効果ヲ舉ゲ、刑務所收容者ニ對シテモ總力運動ノ趣旨ヲ普及シ善導ニ努メツツアリ。

七 愛國日ノ行事

毎月一日ノ愛國日^ハ興亞奉公日ノ制定以前既ニ朝鮮ニテ設定シ半島人ニ普及シタル故依然愛國日ト稱ス^ニハ全^旗戶國揚揚、神社參拜等ヲ爲シテ國民精神ノ昂揚ニ努ムル外、節酒節煙、料理屋ノ自肅休業、飲

食店、食堂ノ飲食物制限、各映畫館ニ於ケル時局關係事項ノ場内放送ヲ實施シ、朝ハ一齊ニ町聯盟及部落聯盟ヲ單位トシテ常會ヲ開キ、全鮮一齊ニ國民總力ノ歌、愛國班ノ歌、國旗掲揚、宮城進拜、默禱、講話等ハ「ラデオ」ニ依ツテ之ヲ行ヒタル後申合事項等ニ移リ常會ヲ終ハルコトニ實施セラレアルガ、講話、申合事項等ノ内容ハ凡テ國民總力ノ發揮ニ資スベキモノヲ選ビ、直ニ實踐ニ移ス如ク措置シツツアリ。

愛國日常會ノ式順序左ノ如シ

一 開 會

二 國旗掲揚並ニ國歌奉唱

三 宮城進拜

四 默 禱

五 皇國臣民ノ誓詞齊唱

六 講 話

七 申 合

八 萬 歲 三 唱

九 閉 會

(以上約三十分ニテ終了)



從來ノ愛國日ハ自肅ヲ主トセルモ、總力運動トシテハ自肅スルト共ニ積極的巨道實踐、職域奉公ヲナス要アルヲ以テ、本年二月ヨリ之ガ活動的ニ勤勞スルコトニ改善シタリ。

ハ、常會ノ運営

常會ハ總力運動ヲ實踐スル根源ニシテ上意下達、下情上通ノ機關トナリ隣保和親、國民生活ヲ改善充實シ得ルモノナルヲ以テ、聯盟ノ組織ヲ通シ中央、地方ヲ通ジ愛國班ニ至ル迄一貫シタル常會ヲ開催シ運営ヲ適切ナラシムルコトニ留意シアリ。以下其概況ヲ略述スレバ

イ、常會ノ設置

國民總力朝鮮聯盟ノ規約ニ於テ道、府、郡、邑、面、町、部落聯盟及愛國班ニ各常會ヲ設置スルコトヲ規定シ、別ニ官廳、學校、會社、銀行、工場、鑛山、大商店等ノ各種聯盟ニモ常會ヲ設置ス

ロ、常會ノ開催日

地域の常會ハ各聯盟ニ於テ毎月一定ノ日時ヲ定メ開催スルヲ例トス道ニ於テ常會日ヲ一定セル一例（忠北道）左ノ如シ

道聯盟

毎月七日午後一時

郡聯盟

全十五日午後一時

邑、面、聯盟

全二十日午後一時

町、部落聯盟 毎月二十五日〇時
愛國班 末 日〇時 通常夜間夕食后

ハ、常会ノ順序及審議事項ノ處理

常会ハ通常者該聯盟役員ヲ集メ右ノ順序ニ行フ

- 1 開会
- 2 宮城造拜
- 3 献酬
- 4 議事
- 5 皇國國民ノ誓詞齊唱
- 6 閉会

議事ハ上級聯盟ノ通達事項、當該官廳及聯盟ノ提案事項、並ニ下級聯盟ヨリ常会ノ意見トシテノ提出事項ヲ審議ス

審議決定事項ハ左ノ如ク處理ス

實踐又ハ周知協力セシムヘキ事項ハ下級聯盟ニ通達シ、下情上通スヘキ事項ハ上級聯盟ニ提出ス

ニ、特種ノ常会

各種聯盟ニ於テハ其職域ニ應ジ職場常会、職能常会ヲ地域的常会ニ準ジテ開催ス

尙都市ニ於テハ婦人常会、子供常会ヲ開催スル所アリ

ホ、愛國日朝ノ常會

全鮮毎月一日ノ愛國日ニ早朝、各町、各部落聯盟毎ニ戸主又ハ主

婦ヲ集メテ常會ヲ開催シ、國民精神ノ昂揚ト國民總訓練ニ資ス、

此常會ハ約三十分間位ニテ終了シ、地方ニ依リテハ更ニ神社參拜

勤勞作業等ヲ實施ス

ヘ、「ラヂオ」ノ利用

愛國日朝ノ常會及毎月七日夜ハ朝鮮聯盟ヨリ常會ノ指導並ニ講演

ヲ全鮮ニ「ラヂオ」放送シ指導シツツアリ

六、經濟新体制運動

全鮮ノ商工業者、會社、工場、鑛山、水産業者等産業、經濟關係者

ヲ以テ夫々總力聯盟ヲ結成シ、經濟新体制運動トシテ職域奉公、生

産力擴充ニ邁進セシム。

其要旨次ノ如シ

1、國民總力商工業者指導組織

イ、目的

全鮮的機構ヲ整備シ官廳トノ連絡ヲ密ニシ職域奉公ヲナス

ロ、組織

商工業者、工場、會社等經濟團體ノ經濟統制協力會ヲ府、邑、郡

、道、全鮮地區ニ結合シテ組織ス

ハ、最下位單位ノ組合、会社、工場ハ愛國班ノ組織ヲ徹底セシメテ
職域奉公ヲナサシム

2. 國民總力朝鮮嶺山聯盟

各嶺山毎ニ嶺山聯盟ヲ結成シ以テ生産力擴充ヲ圖リ、各道ニ道嶺
山聯盟ヲ各郡ニ全支部ヲ設ケテ指導助成ヲナサシメ、之ヲ統合シ
テ中央組織トシテ「朝鮮嶺山聯盟」ヲ設ケ、物心兩面ノ指導連絡
ヲ圖リ一貫シテ生産力擴充体制ヲ確立ス

3. 國民總力朝鮮水産聯盟

イ、目的

水産^イ總力ヲ擧ケテ之ガ生産力^ロ維持増進及ビ、生産物配給ノ
合理化ヲ圖ルモノトス

ロ、組織

本運動ノ中央機關トシテ「朝鮮水産聯盟」ヲ、其下部組織トシテ
道水産聯盟ヲ、其下部ニ府、郡、島水産^イ聯盟ヲ設置シ、行政機關
ト連絡ヲ緊密ニシ實踐運動ノ徹底ヲ期ス

4. 以上ハ完全ナル經濟新体制ニアラザルモ各經濟、産業機關並ニ業
者ガ公益優先、職能ヲ發揮シテ生産力擴充ヲ當該業者ノ保護育成
、勞務調制等ニモ効果ヲ擧ゲントシツツアリ。

10 農山村生産報國運動

總力運動要綱ノ一タル「生産増充」ノ趣旨ニ從ヒ、農山村ニ於ケル生産増充ヲ目指シテ大運動ヲ起シ、十六年度ヨリ三年間ヲ期シテ各戸並ニ部落單位ノ基本調査ヲ本トシ、官廳指導ノ下ニ部落生産増充計畫ヲ樹立シ、之ヲ部落聯盟常會ニ於テ具體的ニ實行方法ヲ定メ、國民精神ノ昂揚並ニ生活刷新ノ施設ト相俟ツテ、聯盟員ハ聯盟理事長及愛國班長ヲ中心トシテ、共勵協力シテ計畫ノ遂行ニ邁行シツツアリ。而シテ計畫ノ遂行ニハ(一)地主、小作人ノ協力協調ニ依リ農耕地ノ適正ナル配分並ニ小作條件ノ改善(二)部落ニ於

ケル各種共同施設ノ擴充(三)勞力ノ調並ニ其ノ自給自足(四)生産物ノ適確ナル集荷並ニ經營上必需物資ノ合理的配給等ニツキ聯盟員一致協力シ以テ所期ノ成果舉揚ニ邁進シツツアリ。更ニ増産遂行ニ就キ實施中ノ大要ヲ擧クレバ左ノ如シ

1 部落生産増充計畫(共同作業ノ勵行、全家勤勞、婦人活動ノ促進等)

2 米ノ増産獎勵(健苗育成、適期挿秧、病害虫ノ防除、適期刈取)

3 畑作物ノ増産獎勵(二毛作ノ擴充、棉、麻、甘藷、馬鈴薯ノ増産適期播種適期收穫)

4 有畜農業ノ普及

5 自給肥料ノ増産

6 木炭、及薪ノ増産奨励

一 指導者及推進隊員ノ練成

總力運動成果ノ舉揚ハ、之ガ指導者ノ力ニ俟ツ所大ナルモノアル
ハ多言ヲ要セズ。

本聯盟ニ於テハ地方聯盟指導者階級ニ在ル者ニ對シ、絶エズ印刷
物配付、機關誌頒布、放送、講演、講習會、打合會等ニ依リ指導
力ノ向上ニ努メツツアルガ、各道聯盟ニ於テハ下部聯盟指導者ノ

講習研究會等ヲ夫々企畫實行中ナリ。

推進隊員ノ養成ニ就テハ、總督府當局ト協力シテ學校教員、地方
官署總力事務担任者、青年團幹部等ヲ扶餘修練道場ニ忠清南道扶
餘收容シテ徹底セル講習ヲ施シ、尙是等受講者及ビ志願兵訓練所
卒業者又別ニ規定シアル資格者等ヲ國民總力推進隊員ニ任命シテ
、地方愛國班員ノ指導誘掖ニ從事セシメツツアリ。

尙推進隊員ニ對シテハ地方別ニ召集シテ、特別ノ練成講習會ヲ開
設セリ。因ニ推進隊員ハ現在約三千名ニ達セリ。

然レドモ推進隊員ハ邑面、部落ニ普遍的ニ配置スル要アルヲ以テ
、其採用範圍ト養成機關ヲ擴大シテ急速ニ増員スル豫定ナリ。

一 婦人指導委員ノ設置並ニ婦人勤勞奨励

一般婦人層ニ對シ特ニ總力運動ノ趣旨ヲ普及徹底セシメ、實踐ノ成果ヲ期スルタメ、本聯盟ニ婦人指導委員二十數名ヲ特設シテ運動ノ企畫ニ參與セシメ、直接街頭ニ進出シテ運動ノ指導ニ當ラシメ、之ト關聯シテ地方都市ノ町聯盟ニ婦人部ヲ設置シ、右婦人指導委員ト連絡シテ、婦人ノ手ニ依ル運動ノ推進ヲ圖ラシメツツアリ。

此等婦人聯盟員ハ生活新体制ヲ實現スル爲、生活ノ簡易化、物資愛護、衛生思想ノ普及、心身ノ鍛鍊、國防的訓練及勤勞ヲ強調シ

、漸次婦人常會等ヲ開催スル氣運ニアリ。

尙地方農村ニ於テハ勤勞ヲ奨励シ、男子ニ對シテ生産擴充ニ協力セシムルコトニ努メ、農閑期ハ叭織増産ニ懸命ノ努力ヲナシ、最近ハ田植農耕ニ出勤スル者漸ク多キヲ加ヘタルハ、朝鮮婦人ノ舊慣ヲ打破シ劃期的ノ進展ナリ。

今後婦人ノ勤勞ヲ一層奨励セバ勞務ノ不足ヲ調制シ増産ニ寄與スル所多カルベシ。

一、貯蓄奨励

簡易節約生活ノ強行ト相俟ツテ貯蓄勵行及國債ノ應募ハ、總力運動重要項目ノ一ニシテ、之ガ遂行ノタメ凡ユル手段ヲ講ジツツアルガ、十五年度朝鮮割當貯蓄目標額五億圓ハ金融各機關ノ活動ト總力聯盟ノ機構ヲ利用シテ其ノ奨励ニ努メタル結果五億七千六百三十三萬九千圓ニ達シテ目標額ヲ遙ニ突破シ、債券ノ賣上ハ左ノ額ニ達シタリ。(單位千圓)

支那事變國庫債券 一一、八八八

貯蓄債券 一一、三四六

報國債券 七、三七〇

尙十六年度貯蓄目標額ハ六億圓ナリガ爲目標額ヲ各道ニ割當テ道ハ府郡ニ責任額ヲ決定シ最下部タル愛國班ノ總力ヲ舉ゲテ各地ノ貯蓄組合ト協力シテ目標額達成ニ努メツツ愛國班ノ活躍コソ誠ニ目覺マシキモノアリ。尙聯盟貯蓄部ヨリ役職員ヲ全鮮各地ニ派遣シ貯蓄座談會ニ出席セシメル等凡ユル方法ヲ講ジテ目的達成ニ努メツツアルガ其成績良好ニシテ前年度以上ノ成績率ヲ期待セラレアリ。

一四 空閑地ノ利用

都鄙共ニ生産擴充ニ協力シ、勤勞報國ノ實ヲ舉グルタメ、各愛國
班員ニ空閑地ヲ利用シテ、野菜其他食糧品類ノ栽培ヲ獎勵シ、各
官公署内ニ於ケル愛國班モ、亦之ト相呼應シテ廳舎内ノ空閑地ニ
共同耕作地ヲ設ケ、出勤時間ノ前後及晝休時間ヲ利用シテ、各種
野菜ノ外軍用ニ供セラルベキ苜蓿等ヲ栽培シ、學校、會社、工場
等ニ於テモ空閑地利用ヲナシ、地方ニ於テハ荒蕪地ノ開墾ヲ獎勵
シ生産報國ニ邁進シツツアリ。

一五 文化施設

總力運動●於ケル文化施設ハ、高度國防國家体制ノ確立ヲ目標ト
シテ清新健全ナル國民文化ノ綜合的發展ヲ圖ルコトトシ、之ガタ
メニハ(一)科學思想ノ普及(二)國民教化ノ徹底(三)藝術娛樂ノ淨化(四)出
版文化ノ刷新(五)生活文化ノ質實(六)聯盟實踐要綱ノ具現ヲ期シツツ
各種ノ施設ヲ行フコトト爲セルガ、差當リ實現又ハ計畫セルモノ
ハ、演劇演藝、映畫、美術、音樂、榮養、朝鮮式講談等ニ關スル
夫々ノ門徒ヲ新設又ハ統合シ、更ニ各種文化關係講習會、演藝會、
音樂會等ノ開催、文藝美術工藝作品ノ推薦褒賞等ヲ實施シツツア
リ。

一六 宣傳施設

總力運動の普及徹底ハ勿論、時局認識、民智ノ啓發等ヲ圖ルタメ、大ニ宣傳施設ニ意ヲ用ヒツツアルガ、其ノ主ナル事業トシテハ、新聞、雜誌、ポスター、放送等ヲ絶エズ利用スル外、機關誌トシテ「國民總力」(毎月二万三千部發行)、
「愛國班」(毎月四十一万部發行)、平易簡易ヲ旨トセル「總力運動叢書」(年二十四種一回一万五千部發行)等ノ刊行頒布、百貨店、映畫館、劇場、競馬場等ニ於ケル場内放送、講演、映畫製作、巡回演寫、レコード作製、標榜普及、展覽會開催、其ノ他ノ方法ヲ講ジ多大ノ効果ヲ收メツツアリ。

尙全鮮ノ新聞社ハ相互協力シテ總力運動ノタメ全機能ヲ發揮シテ宣傳陣ヲ構成シ、趣旨ノ徹底ニ多大ノ寄與ヲ爲シツツアルハ、最モ注目スベキ事象トス。

尙内地及滿洲國、北支、蒙疆等ニ居住シアル半島人ノ修養ニ資スル爲、機關誌「國民總力」「愛國班」ヲ各府縣協和會、並ニ滿洲、北支等ノ半島人指導機關ニ送付シアリ。

一 結言

國民總力運動ハ中央、地方共ニ行政機構ト表裏一体トナリ、強力ナル國民組織ヲ以テ指導者ノ垂範ト民衆ノ熱意トニ依リ、各道共前記ノ如ク概ネ同一歩調ヲ以テ實踐ニ精進シテ國策ニ協力シ漸次向上ノ域ニアリ。

然レドモ半島ノ大衆ハ其民度、風習、國語普及ノ程度一様ナラザルヲ以テ、最下部組織ノ部落聯盟、愛國班長ニ有能ノ中心人物ヲ選定スルコトハ必須要件ナルモ、未ダ所望ノ如クナラザルモノアリ、眞ニ内鮮一体、皇國臣民トシテ臣道實踐ニ邁進セシムル爲ニハ一段ノ工夫努力ヲ要スル所ナリ。